

カラオケ店やデパートがニトリに変身

～ ニトリの立地別出店戦略 ～

■ニトリホールディングスは、2017年6月に「ニトリ渋谷公園通り店」を東京都渋谷区を中心街に開店しました。店舗面積は5,000平方メートルで、JR山手線沿線にある都市型店舗では最大規模となります。この場所はもともとカラオケ店のシダックスの旗艦店（中心となる店舗）でした。

地上9階、地下1階建てのビルを借り受けて、地上1～9階に売り場を開設し、従来の大型店と同程度の約9,600品目を取り扱います。



「渋谷シダックスビレッジ」ビル

(出所:<http://www.nitorihd.co.jp/news/items/9890178609>)

■ニトリの店舗は自動車での来店を想定した郊外型の5,000平方メートル級の大型店舗が多くありますが、近年は客層の開拓のため百貨店内など東京都心部への出店を進めています。

都心の大型店は、いままで展示できなかった組み立て家具などを充実させ、若いお客様にニトリを知ってもらうことで客層が拡大することを期待しています。そのため、商品によっては価格を抑え、色の種類を増やすなどして対応を行います。

■ニトリでは、3月にも大規模な店舗を東京都豊島区の東武百貨店池袋本店、東京都品川区のアトレ目黒店、東京都中央区のマロニエゲート銀座店の3カ所に開店し百貨店を訪れる40代以上の顧客層を広げることが目的として、百貨店との相乗効果で来店客数の増加を目指します。



また、東京都内ではニトリの店舗にイトーヨーカドーの食品スーパーがテナントとして入るとい、今までとは逆の店舗も開店しています。この店舗形態も、東京23区内への積極的な進出を続けており、食品スーパーとの複合施設で集客力を高めています。

資料番号：戦略B-4-12

出所：『北海道新聞』2017年6月30日付

『日経MJ（流通新聞）』2016年12月11日付、2017年3月17日付